

第21回 ネオクラシック コンサート

～音楽とお話でつづる午後のひととき～

岐阜県交響楽団演奏会

指揮 石田 正
チェロ 坂田晃子
管弦楽 岐阜県交響楽団

ドヴォルザーク チェロ協奏曲 短調
交響曲第9番「新世界より」第4楽章 ほか

2021年12月19日[日]14:00開演(13:20開場)

瑞穂市総合センターサンシャインホール

〈一般〉1,000円 〈中学生以下〉500円

チケット
取扱

瑞穂市総合センター事務局

〈チケットぴあ予約専用電話〉

0570-02-9999 (Pコード 203-982)



[URL] <http://t.pia.jp>

※セブンイレブンで、直接お買い求めいただけます。※10月1日10:00から、販売開始いたします。

※不可抗力による興行中止の場合の払戻しは、令和3年12月20日から令和4年12月19日までに所定の手続きをされた場合に限り行います。

お問い合わせ 〈瑞穂市生涯学習課〉058-327-2117 〈洋楽部会〉090-8150-6114(役)

主催:瑞穂市 共催:瑞穂市教育委員会・瑞穂市文化協会 協力:瑞穂市文化協会洋楽部会

※コンサート当日は各自新型コロナウイルス対策をお願いします。

第21回 ネオクラシックコンサート ～音楽とお話でつづる午後のひととき～

〈出演者プロフィール〉



指揮 石田 正 Tadashi Ishida

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。オーボエ奏者、指揮者。

2008年アフィニス夏の音楽祭に参加。

名古屋ダブルリードアンサンブル、吟遊詞人、アンサンブル・クレッシェンドのメンバーとして、演奏、作曲、編曲など多岐にわたる活動をしている。

一宮市消防音楽隊嘱託奏者、名古屋市立若宮商業高校外部講師。合奏指導も盛んで、現在、ウインドアンサンブル岐阜、大垣市吹奏楽団、岐阜ドルチェ管弦楽団の各常任指揮者。また、オーケストラのトレーナーとしても定評があり、愛知教育大学管弦楽部、南山大学管弦楽部、アSEMBL管弦楽団、大垣市室内管弦楽団の分奏・合奏トレーナー。

チェロ 坂田 晃子 Akiko Sakata

神奈川県出身。9歳よりチェロを始める。東京理科大学理学部応用化学科卒業。

2015年に小田原市の姉妹都市交流事業において、派遣青年として渡米し、現地における音楽教育を研究する。またお茶の水管弦楽団などの東京を拠点とするオーケストラにおいて首席奏者を務める。

第76回東京国際芸術協会新人演奏会に出演。学内のオーディションにより室内楽の夕べに出演。第1回P-NEXTチェロコンクール優秀賞。

第30回日本クラシック音楽コンクール全国大会大学の部にて第5位(最高位)。東海、関東を中心に精力的に演奏活動を行っている。チェロを浦井勝美、花崎薫、野村友紀、西谷牧人の各氏に師事。

大槻カール晃士、P.Jee、C.Kanngiesserの各氏のレッスンを受講。L.Kanta氏の公開マスタークラスを受講。現在愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻弦楽器コース4年次在学中。



管弦楽

公益社団法人 岐阜県交響楽団

Gifu symphony orchestra

1953年、岐阜交響楽団として発足、2011年3月「公益社団法人 岐阜県交響楽団」となる。楽団員は90余名で、様々な職業人で構成しているアマチュアオーケストラである。

活動は、年3回の自主公演や各地の学校や地域での演奏活動、また、岐響ジュニアオーケストラの育成など、地域に根ざした音楽文化普及と向上発展に熱意と情熱をもって貢献している。

1998年専用の練習場が完成。2003年創立50周年にはサントリーホールにおいて「東京公演」を、また2009年創立55周年には、ウィーン楽友協会・黄金ホールにて「ウィーン公演」を開催し大成功をおさめた。2013年創立60周年、2018年65周年を迎え、県内外で記念公演を開催してきた。今後、ますますレベルアップを図り、郷土の皆さまにいつそう誇りをもっていただけのオーケストラを目指し、努力を続けている。

昭和59年「地域文化功労表彰」(文部大臣)、平成11年「ふるさと文化賞」(岐阜市)、平成19年「第57回岐阜新聞大賞」(岐阜新聞社)の各賞を受賞。